

⑫ 公開実用新案公報(U)

平4-81226

⑤ Int. Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

③ 公開 平成4年(1992)7月15日

G 11 B 7/26
G 05 D 3/00P 7215-5D
9179-3H

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全2頁)

④ 考案の名称 ガラス原盤の自動中心位置決め装置

⑦ 実 願 平2-122260

⑦ 出 願 平2(1990)11月21日

⑦ 考 案 者 坂 本 一 夫 神奈川県川崎市川崎区港町5番1号 日本コロムビア株式会社川崎工場内

⑦ 出 願 人 日本コロムビア株式会社 東京都港区赤坂4丁目14番14号

⑦ 代 理 人 弁理士 山口 和美

⑤ 実用新案登録請求の範囲

- (1) モータによつて回転する円形ラックギヤと、その回転によつて連動する少なくとも3つ以上のピニオンギヤと、中心部を雌ネジとした前記ピニオンギヤと螺合する雄ネジのアームと、該アームを径方向に直動させるためのアンチスクリューと、前記アームの先端部に設けたガラス原盤の当接部であるチャックと、該チャックに設けたセンサーとを有し、それぞれをターンテーブルの回転中心に同心円状に基台に配置して、ガラス原盤の外周部を前記アームで当接することにより中心位置の位置出しを行うことを特徴とする、ガラス原盤の自動中心位置決め装置。
- (2) 前記アームにスライドブツシュをつけガイドレールにより支持することを特徴とする請求項

(1) 記載のガラス原盤の自動中心位置決め装置。
図面の簡単な説明

第1図は本考案の一実施例を示す上面構成図、第2図、第3図は第1図の側面構成図、第4図は第1図の実施例を説明するための部分拡大図、第5図は他の実施例を示す上面構成図、第6図、第7図は第5図の側面構成図、第8図は第5図の実施例を説明するための部分拡大図、第9図、第10図は従来例を説明するための説明図である。

1……基台、2……ガラス原盤、3……円形ラックギヤ、4……ピニオンギヤ、5……アーム、6……アンチスクリュー、7……チャック、8……センサー、9……ターンテーブル、10……モータ、11……スライドフイツシュ、13……レクナル目盛り、14……カッティング面、15……検出器、16……補正器。



